

指定管理者管理運営状況評価

評価対象施設	さいたま文学館
指定管理者	(公財)けやき文化財団
評価対象年度	平成24年度
施設所管課	生涯学習文化財課

評価項目	細項目	評価	コメント
利用者の 安心・安全、 平等利用の 確保	安全性の確保	A	適切な事故防止対策等がされており、安全性は確保されていた。
	法令等の遵守	A	法令等の遵守、個人情報保護体制の確保など適切に行われていた。
	平等利用の確保	A	適切に処理しており、平等利用は確保されていた。
施設の設置 目的の達成	事業の実施	B	企画展示及び普及事業において、定員を満了した事業の割合等、一部目標に達しなかった。
	利用状況	A	文学活動施設等の積極的な利用を図り、目標を大幅に達成した。 (目標)59,200人 → (実績)64,356人
	適切な管理の 履行	A	協定書や事業計画に沿った適切な管理が履行されていた。
	文学資料の適切な 管理・展示	A	燻蒸消毒を行い、中性紙の箱で保存するなど文学資料の劣化防止に努めている。
	財産の適切な 管理	A	適切な財産管理がなされていた。
利用者サービス の向上	サービス内容の向上	A	地元高校生の取り組みを紹介したり、展示室の解説文の文字を大きくするなど、サービス内容の向上に努めた。
	利用者の満足度	A	利用者サービスの向上などに努めた結果、施設管理の徹底により、目標を上回った。 (目標)普及事業85%以上 → (実績)95.0% (目標)施設自体85%以上 → (実績)89.0%
総合評価		A	

特記事項	特に評価すべき点	適切な管理・運営がなされており、管理目標についても、概ね目標を達成している。利用料金収入も目標を達成し、利用者満足度も各項目で管理目標を達成している。
	次年度に向けて 改善が望まれる点	利用者ニーズやトレンドなどを考慮し、魅力ある企画展やテーマ展を開催するよう努めるとともに、積極的かつ効果的な広報を実施することにより、より一層の利用者数、利用料金の増につなげていきたい。